

令和5年度第1回 鎌ヶ谷市子ども・子育て会議 会議録

1 日時 令和5年10月27日（金） 10:00～12:00

2 場所 鎌ヶ谷市役所本庁舎地下1階 団体研修室

3 出席委員

山本幸子委員、江津和也委員、鈴木智恵委員、和田多恵子委員、松村幸江委員、渡部郷勝委員、渡邊輝江委員、高橋良子委員、長濱恵子委員、新沼佐紀委員

4 事務局

田口健康福祉部次長（幼児保育課長）、本間健康福祉部副参事（健康増進課長）、星こども支援課長、木村子育て支援センター所長、遠藤こども総合相談室長、山崎南初富保育園長、大橋こども支援課長補佐、松沼幼児保育課長補佐、林健康増進課長補佐、中山主任主事（こども支援課）

5 記録 中山

6 傍聴者 0人

7 議題

(1) 令和4年度子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

8 配布資料

(1) 資料1 鎌ヶ谷市子ども・子育て会議委員名簿

(2) 資料2 令和4年度子ども・子育て支援事業計画進捗状況

【幼児期における教育・保育（子どものための教育・保育給付）】

(3) 資料3 令和4年度子ども・子育て支援事業計画進捗状況

【地域子ども・子育て支援事業（子ども・子育て支援法第59条の

規定に基づく13事業)】

- (4) 資料4 令和4年度子ども・子育て支援事業計画進捗状況
【その他関連施策について】

9 会議内容

≪議題≫

(1) 令和4年度子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

ア 「幼児期における教育・保育」の進捗状況

- (ア) 事務局が資料2に基づき説明
(イ) 質疑応答

委員 前回の会議で、流山市で実施している保育ステーションのような保育園への送迎サービスについて、鎌ヶ谷市でも導入してはどうかという意見が出ていたが、その後いかがか。

事務局 今後の課題として認識しているが、鎌ヶ谷市は市域が狭いため、財政状況などを見ながら検討していく。

イ 「地域子ども・子育て支援事業」の進捗状況

- (ア) 事務局が資料3に基づき、事業ごとに説明
(イ) 質疑応答

・事業① 利用者支援事業について

委員 かまっこすくすく新聞やかまがや子育てガイドブックは、どこで配布しているか。

事務局 かまがや子育てガイドブックは、母子健康手帳の交付時や、他市からの転入手続きの際に配布している。また、市ホームページにも掲載している。

かまっこすくすく新聞は、今年度から発行を開始し、児童センターなどで配布している。かまっこ応援団ホームページにも掲載している。周知に当たっては、SNSの活用なども検討していく。

委員 コーディネーターc a f eの実施状況を伺う。

事務局 今年度は予約制で12回実施しており、1回につき5人、各20分

で個別相談を実施している。今後も、やわらかい雰囲気の中で相談できる環境を整えていく。

・事業② 延長保育事業について

委員 課題に保育士の資質向上とあるが、どのように質の向上を図っていくか伺う。

事務局 公立保育園だけでなく、民間施設にも国や県からの通知内容を共有する。また、保護者などから不適切保育ではないかなどの相談が寄せられた際には、民間施設に対して状況確認を行っている。市や県で実施している研修会等に民間施設の職員にも参加してもらうことで保育士の質の向上に取り組んでいく。

・事業③ 放課後児童健全育成事業について

委員 放課後児童クラブについての情報を得にくいと感じる。クラブの様子や利用状況など現場の情報を知りたい。

事務局 初めてクラブを利用される方にとって、事前の情報収集は必要と考える。クラブの様子がわかるように、市ホームページなどで情報発信をしていく。

・事業④ 病児保育事業について

委員 病後児の定義がわかりにくく、いつから利用できるのか判断ができない。また、利用できる施設が増えてほしい。

事務局 事業を実施している鎌ヶ谷総合病院で診察してもらい、病気の回復期であると判断された場合に利用が可能となる。施設については、市としても増やしていきたいと考えている。

委員 病児・病後児保育を利用するには、事前に診断書を用意する必要があるのか。

事務局 病児・病後児保育を実施している病院で診察を受け、その結果対象となればそのまま預けるとするのが利用の流れである。

委員 幼稚園や保育園では、病児・病後児への対応はどうしているのか。

委員 幼稚園では、子どもが回復するまでは家で見てもらうようお願いしている。

委員 病児保育事業について、子どもの立場に立って考えてみると、病気の時に知らない場所・知らない人に預けられるというのは寂しいと思う。親にとってはありがたい事業ではあるが、子どもが病気の時に休める社会づくりも大切である。子どもにとって保護者と過ごす時間は大切だと思う。

・事業⑫ 実費徴収に係る補足給付について

委員 低所得者等とあるが、生活保護受給者は含まれるのか。また、補助対象は重複していないか伺う。

事務局 生活保護受給者が含まれるが、生活保護の補助対象には当たらないため、重複はしていない。

ウ 「その他関連施策」の進捗状況

(ア) 事務局が資料4に基づき説明

(イ) 質疑応答

・基本方針1 基本計画4 施策3 放課後等デイサービスの強化について

委員 放課後等デイサービスは、不登校の子が利用すると学校の出席扱いとなるが、その場合、事業所への補助が出ない。また、事業者の中には利益追求のところもある中、そうではなく真面目に事業に取り組んでいるところへは、もっと補助をお願いしたい。

事務局 事業所への補助等のご意見については、担当の障がい福祉課へ情報を共有する。

・基本方針2 基本計画2 施策3 幼稚園教諭、保育士、放課後児童支援員等の専門性の向上について

委員 取組内容として、障がい児対策に関する研修会への参加とあるが、具体的な研修の内容を伺う。また、発達センターへ通っている保護者へのケアの状況を伺う。

事務局 幼児保育課では、今年の9月から道野辺保育園において医療的ケア児の受入れを開始するなど、徐々に支援体制が広がっている状況である。令和4年度に実施した研修のテーマは、幼児保育課主催で「配慮が必要なお子さんとともに」、こども発達センター主催で「こども発達センターの施設見学と実践」であった。また、千葉県保育協議会主催の「配慮が必要な子どもと家庭への支援に向けて」、千葉県発達障害者支援センター主催の「自閉症連続基礎講座」にも参加した。保護者向けの研修としては、こども発達センター主催で「こどもの発達について知ろう」などの研修を開催した。今年度も研修を開催する予定である。

委員 放課後等デイサービス事業者にも研修の情報を提供してほしい。
事務局 承知した。

10 その他

事務局より、子育て支援に係る主な新規事業として、(1) 多子世帯への保育料減免、(2) 高校生等医療費の助成、(3) アカシア児童遊園の改修工事、(4) 東部児童センターの整備、(5) 養育費に関する公正証書等の作成費用の助成の5つの事業について説明した。

また、次回会議について、第3期子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査について開催予定である旨を説明した。

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証明するため、次に署名する。

令和5年12月7日

氏 名 和田 多恵子

氏 名 松村 幸江